



### 前中期経営計画PAMCO-30の総括

当社は、世界の政治、経済の急激な変化に対応するため、自社の強みである「顧客からの信頼」、「高効率な生産・販売」、「優れた環境管理」などをより一層確固たる経営基盤に構築することを目的に、世界トップクラスのエロニッケルメーカーを目指すという長期ビジョンの達成に向けて取り組んでおります。その長期ビジョンのFirst Stageである最初の3年間を「環境急変対応の基盤固め」と位置づけ、中期経営計画であるPAMCO-30を策定し、2018年度まで活動を行ってまいりました。

PAMCO-30の計画期間である2016年度から2018年度は、LME (London Metal Exchange : ロンドン金属取引所) ニッケル価格の低迷、インドネシア鉱石禁輸の一

部緩和、鉱石の低品位化、中国政府の環境規制によるステンレス生産の上限圧力、電力コストの高止まりなど、さまざまな事業環境の変化がありました。このような状況の中、社員一丸となってPAMCO-30の各施策に取り組めたこと、特に、収益面・生産面での改善により、3年間で約26億円ものコストダウンができたことは非常に大きな成果でした。社員一人ひとりが自らコストを如何に低減するのかを考え、できることを徹底的に積み上げ取り組んだ結果であると思います。

しかし、PAMCO-30で掲げていた施策は、まだ道半ばであると考えています。継続的な課題である低コスト操業の推進、低品位鉱石への対応、鉱石の安定調達、環境・安全対策等については次のステージにもしっかりと反映し、継続して取り組んでまいります。

### 新中期経営計画PAMCO-2021の策定

長期ビジョン達成のためのSecond Stageとして、前中期経営計画で築いた基盤の更なる強化を目指し、新中期経営計画 (PAMCO-2021) を策定しました。

基本方針は、「経営基盤の強化・再整備並びに成長に向けた戦略の絞り込み」、「社会的・経済的価値の創出」の2項目からなり、事業環境の急変にも対応できる筋肉質な企業を目指すとともに社会の持続可能性に配慮した企業への成長を目指します。

今後広がり懸念される資源ナショナリズム等の社会構造の変化を見据え、より安定的なフェロニッケル生産体制を構築・強化するとともに、事業環境の変化に柔軟に対応できる組織と人材の強化を重点施策として取り組みます。また環境対策に加え、安全管理も事業維持の基盤であり、誰ひとり怪我をさせないための教育を今後も時代や社会の変化に合わせて追及してまいります。

### 持続可能な社会の実現への貢献

PAMCO-2021のターゲットの一つに「持続可能な社会の実現への貢献」を掲げております。これは、国連において採択された持続可能な開発目標「SDGs」に積極的に取り組むことにより社会に貢献する企業に成長することと考えています。

具体的には省エネ設備への改良、高温排ガス再利用による省エネルギー対策や、排水終末処理施設による水質汚濁防止対策とその処理水の再利用実施、そして、従来から徹底しているフェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献等、環境対策について積極的に推進してまいります。

また、東日本大震災被災地へのフェロニッケルスラグ土木資材の供給、工場周辺や地域の清掃活動の実施や、地元サッカークラブチームへの協賛や地域活性化活動への参加により地域社会との共生を目指します。「八戸工場大

学」にも継続して協力しており、2018年度は講師派遣や工場見学会を実施しました。

さらに、コーポレートガバナンスの充実・強化のため、統合マネジメントシステム (IMS) の活用による法規制順守に取り組んでいます。今後も情報開示を拡充し、当社の取り組みをすべてのステークホルダーの方々にご理解いただくため、より積極的に当社の活動や考え方を発信していきたいと考えています。

### 働きがいのある企業を目指して

当社の長期ビジョンは、「総合力トップクラスのエロニッケルメーカーを目指す」です。収益を上げることで当社を将来にわたって存続させ、当社で働く社員の雇用を守り、その家族を守り、働きがいのある職場を作りたいとの思いがあります。

我々は一生の中で、多くの時間を会社で過ごします。社員の皆さんにはこの貴重な時間をやりがいを持って働いてもらいたいという思いから、新しい人事制度を構築、導入しました。この制度は社員一人ひとりが仕事に目的意識を持ち、継続的に成長していく制度であると考えています。また、当社では改善提案制度を実施しています。前中期経営計画期間においてコストダウンなどの大きな成果があったのは、この改善提案制度の効果であったと考えています。応募数は毎年増加しており、意気込みを持った社員が増えていることを実感しています。社員一人ひとりが目的意識を持ち、事業活動に積極的に取り組むことで、今後も厳しい環境を乗り越えていけると確信しています。

当社は「人の力を活かし、地球の資源をより有用なるものとして提供し、人類社会の幸福に貢献する」という経営理念のもと、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向け邁進していく所存であります。

今後とも、みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 佐々木 朗